

平成25年度第2回技術講習会



主催者開会挨拶



講習会風景

第2回技術講習会は、日頃協会活動をご支援頂いている賛助会員と連携し、ダイキンHVACソリューション近畿株式会社から講師を招へいして「省エネに向けた空調設備の新商品動向及び関連商材の特徴と顧客への提案方法」をテーマに開催しました。

現在、地球温暖化ガスの排出削減に向けた取り組みが世界的に加速され、その対応の一つとして空調機においては温暖化係数の低い冷媒への転換が急速に進められようとしています。そして空調機の市場も新設から更新需要に大きくシフトしつつあります。

そのような中であって、この講習会は、ビル、工場等の電気設備工事の施工時に電気工事と一体的にこれら更新需要に対応していく際には、会員にとっても大きなビジネスチャンスが潜んでいる可能性が想定されるとの観点から企画されたものです。

講義内容は、空調設備の技術開発動向や関連商材の特徴、その顧客への提案方法を習得し、会員の技術力向上やビジネスチャンスの機会獲得の支援につながるよう設定しました。

平成26年3月11日(火)午後1時30分から約2時間神戸市中央区の兵庫県中央労働センターで開催し、年度末にもかかわらず代表取締役をはじめ会社の役員・幹部クラスを中心に21名の参加がありました。

講師は、同社の第一線で活躍されている2人の社員の方々にお務めいただき、多様な最新の資料などを駆使しつつ、12013年秋の新商品～新冷媒・R32補助金活用の提案3HVAC商品事例に区分して、それぞれ講義が行われました。

電気設備業界を取り巻く技術環境が日進月歩に変わりつつある中で、参加会員にとって空調機器の技術開発の動向、関連商材の特徴等についての情報をまとまった形で取得でき、会員の今後の経営戦略づくりを研鑽する場ともなりました。



講義の様子